平成３０年度事業報告

概　　要

平成３０年度に日本列島では、６月に大阪府高槻市で震度６の地震、７月には２００人以上の死者・行方不明者を出した西日本豪雨及び埼玉県熊谷市で国内最高の４１．４度を記録する猛暑、９月には近畿地方を襲った大型台風２１号や大規模な山崩れが発生した北海道胆振東部地震など、「災」が年度漢字となる自然災害の多い年となりました。

大牟田市では、幸いにして大規模災害は発生しませんでしたが、豪雨や猛暑日が続きました。全国各地をはじめ、福岡市でも観測史上最高気温を記録し、熱中症で救急搬送された人が全国で５万人を超えた中で、当センターでは、就業中の熱中症による事故は０でした。しかし、就業途上おける１件の交通死亡事故が発生したことが非常に残念でした。

事業実績では、請負事業収入増が、除草作業で２，６２０千円増、ゴミ処理で１，１９２千円増、大牟田文化会館の業務受託等により屋内清掃で１１，３３２千円増となりました。事業収入減では、植木剪定が３，１５５千円減、世界遺産や駐車場の管理職種で５，８６７千円減等となりました。一方、シルバー派遣事業の契約金額は、人手不足を背景に目標の４７％増となりました。

最重点課題としていた会員拡大については、ホームページのリニューアルによる情報発信、女性会員の集い「カメリアの会」の発足、仮会員制度の普及、会員の声かけ等に取り組み、前年度末比で４人増となりましたが、目標の６３０人に達しませんでした。

平成３０年度は、高齢化の進行や人口減による市内経済の低迷、世界遺産への来場者の減少などの厳しい要因がありましたが、会員、役員、事務局が一体となり、市民や市内中小事業者の信頼に応えた結果、事業収入は、目標の３億１千万円を達成し、経営の安定を継続することができました。

事業実績

一　雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業、社会参加のための支援（公益目的事業）

１　就業開拓提供等事業

（１）受託事業（一般）

高齢者の就業機会を確保し、高齢者の希望や能力に応じて、グループ就業やローテーション就業などを行い、高齢者に臨時的かつ短期的又は軽易な就業機会の提供を行いました。

	平成３０年度実績	前年度比	計　画
			達成率
会　員　数	６１１人	４人増	６３０人
			９７％

就業実人員	５４５人	６人減	５８５人
			９３％
就業延人員	８３，４６１人日	４，２７７人増	９３，６００人日
			８９％
就　業　率	８９．２％	１．６ポイント減	９０％
			９９％
事業収入	３１１，９６１千円	９７千円減	３１０，０００千円
			１０１％

（主な就業分野）

○ 事務（文書作成、受付事務、賞状・宛名書き等の筆耕等）

○ 技能（剪定、大工、左官、襖・障子・網戸張替え、刃物砥ぎ等）

○ 管理（小・中学校、地区公民館、駐輪場、イベント会場での駐車場整理等）

○ 配布（市広報誌、チラシ・フリーペーパー配布等）

○ 屋外・屋内作業（屋外・屋内清掃、除草、植木消毒、家財搬出、農作業等）

○ 福祉・家事援助サービス（家事手伝い、育児支援等）

（２）独自事業

地域のニーズに対応するために､独自の創意と工夫により次の事業を実施しました。

○ リサイクル事業

市民から提供された衣類、家具、家電製品、自転車等の再生・販売、また、学校給食や一般家庭の廃てんぷら油を原料とした石けんの製造・販売を行いました。

この事業により、ごみの減量化と資源の有効活用など市民の３Ｒ活動を推進しました。

○ 宮原坑ショップ事業

世界遺産宮原坑で、来場者へ地元特産品及び会員手作り品等を販売しました。

○ 生きいきシルバー農園事業

耕作放棄地対策として、休耕地を活用した農産物の生産及び有料市民農園事業を行い、農産物は農園直売所、センターのショップ等で販売しました。

平成３０年度	就業実人員	就業延人員	契約金額
計　　画	３０人	４，０００人日	１２，０００千円
実　　績	３０人	３，８３４人日	１１，１６０千円

二　雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業（公益目的事業）

１　職業紹介事業

地域の高齢者に、臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務の範囲における就業を紹介するとともに、地域事業者の求人等の情報収集及び提供を行いました。

２　労働者派遣事業

地域における人手不足と高齢者が求める就業形態の多様化に応えるため、臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務の範囲において、労働者派遣事業を実施しました。

平成３０年度	就業延人員	契約金額
計　　画	４，０００人日	１２，０００千円
実　　績	６，１７８人日	１７，６９３千円

（主な就業分野）

高齢者施設等の配膳業務、送迎業務、食品製造業務、商品整理等

三　高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するための普及啓発、情報提供、研修・講習、相談・助言、調査研究等（公益目的事業）

１　普及啓発事業

（１）広報活動

①　月２回の入会説明会を開催し、高齢者の生きがい就労や社会参加活動を紹介するとともに、全戸配布の無料情報誌に、センター事業の紹介や会員募集の広告を掲載しました。

②　毎月１０日の十日市やおおむた道の駅「花ぷらす館」への会員手作り品の出品、７月の夏祭り市民総踊り参加、年間を通し出張販売する「よかもん商店街」への参加、１０月開催の「わくわくシルバーフェスタ」、１１月の世界遺産宮原坑での「炭鉱の祭典」等で、市民へのセンター事業の普及啓発を行いました。

③　１０月の普及啓発促進月間に、市行政及び市議会への支援要請行動を行うとともに、地元新聞社へセンター事業の情報提供やホームページをリニューアルし、リアルタイムの求人情報等、新しい情報発信を行いました。

④　会員拡大を図るため、女性会員の集い「カメリアの会」を１１月に発足しハーバリウム講習会を実施するとともに、月２回の会員と一般市民参加の手芸教室の開催、大牟田市エコサンクセンター環境教室での年９回の布ぞうり教室、年２回のちりめんリース作りを実施しました。

（２）社会参加・ボランティア活動

①　夏祭り市民総踊り　　７月２８日（土）　　会員及び職員　１１２人参加

②　高齢者生きがい創造センター剪定・除草奉仕活動

１０月１３日（土）　会員及び職員　　１０９人参加

③　市役所剪定奉仕活動　１０月２１日（日）　会員及び職員　　４３人参加

２　安全・適正就業推進事業

（１）安全就業の推進

「安全は全てに優先する」を周知するために、センター中庭に安全第一の看板を常設し、安全パトロールの実施、職群別定例会での安全周知、安全就業促進大会の開催を行うとともに、夏場の熱中症対策として瞬間冷却パックを全会員へ配布し、疲労や睡眠不足による事故防止への注意喚起を行いました。

今年度の事故発生状況は、傷害事故では、就業途上での１件の交通死亡事故、転倒、蜂刺されなど１２件発生しました。前年度６件発生した賠償事故は、事故ゼロを達成しました。傷害事故及び賠償事故では、前年度より４件減少しました。事故の内容は以下のとおりです。

【傷害事故】１２件（前年比＋２件）

日時	性別	年齢	事故	職種	発生状況・原因・対策
4/10 20:30	男	79	就業中 （転倒） 18日入院 6日通院	施設 管理	夜間に体育館の見回り中、渡り廊下の石の段差に躓いて転倒した。 （事故原因） 懐中電灯を点けて見回りをしていたが、足元が暗く、障害物に気付かなかった。 （再発防止策） 慣れた経路であっても、足元や周囲への注意を怠らない。
5/22 9:00	男	85	就業中 （蜂刺され） 3日通院	除草	除草作業中、植え込みから飛び出してきた蜂に刺された。 （事故原因） 蜂に対する危険予知が十分でなかった。 （再発防止策） 作業前に植え込みの安全確認を十分に行う。また、蜂スプレーを常備し、いつでも使えるようにしておく。
5/26 11:30	女	76	就業中 （転倒） 2日通院	販売	接客のため、店舗の外に出た際、コンクリートの段差に躓き、転倒した。 （事故原因） 接客に気を取られ、足元の確認が不十分だった。 （再発防止策） 慣れている作業現場でも、足元や周囲への注意を怠らない。
6/1 10:00	男	69	就業中 （転倒） 2日入院	剪定	剪定の寄せ方作業中、地面に埋め込まれた障害物に躓き、転倒した。 （事故原因） 障害物が木くずに埋もれて気付かなかった。 （再発防止策） 足元をしっかり確認して作業をする。また、木くずの置き場所にも十分注意する。

7/4 10:00	男	62	就業中 （蜂刺され） ２日通院	剪定	蜂がいるのは把握していたので、蜂スプレーを常備していたが、他にも蜂の巣があり、手首を刺された。 （事故原因） 複数の蜂の巣があることを予測していなかった。 （再発防止策） 蜂が飛んでいれば無理に作業せず、業者に駆除してもらった後に作業を開始するなどの対策を行う。
8/2 8:00	女	66	就業中 （蜂刺され） ３日通院	除草	除草作業中、植え込みから飛び出してきた蜂に刺された。 （事故原因） 植木の根元に蜂の巣があることに気付かなかった。 （再発防止策） 作業前に植え込みの安全確認を十分に行う。また、蜂スプレーを常備し、いつでも使えるようにしておく。
9/24 8:30	男	73	就業中 （切傷） 29日通院	剪定	チェーンソーで枯れ枝を切っていたところ、反動で左足の膝付近に刃が当たり、負傷した。 （事故原因） 作業場所は法面で、左足を軸にしていたため、避けきれなかった。 （再発防止策） 法面での機械操作は、体勢の維持や距離感が難しいことを十分に理解し、安全な場所で作業を行う。
10/10 8:00	男	62	就業中 （転倒） 3 日通院	除草	除草の寄せ方作業中、誤って側溝に足を踏み入れ転倒し、左手をつき負傷した。 （事故原因） 足元の確認が不十分であった。 （再発防止策） 事前に作業現場の状況を確認し、危険箇所へマーキングをするなどの対策を行う。
11/23 11:30	女	75	就業中 （転倒） ２日入院 ８日通院	清掃	敷地内の花壇の草取りをしていた際、段差に躓き転倒し、左手親指を骨折した。 （事故原因） 足元の確認が不十分だった。 （再発防止策） 慣れている作業現場でも、足元や周囲への注意を怠らない。

11/27 16:00	男	78	就業途上 （交通事故） 死亡	施設 管理	午後5時開始の施設管理に自宅からバイクで向かう途中、信号のない交差点で軽自動車と衝突した。病院へ救急搬送されたが、胸などを強く打ち、約1時間後に死亡した。
					（事故原因） 信号が無く、見通しの悪い交差点であったため、事故が発生したと思われる。
					（再発防止策） 事故の再発防止のため、全会員を対象に緊急交通安全講習会を実施した。
12/1 17:00	男	66	就業中 （擦傷） 通院中	広報 配布	自転車で広報配布中、交差点を曲がる際、道路段差のコンクリートに左足かかとが当たり擦り傷を負った。その後、受診が遅れたため患部が壊死し治療に時間を要している。
					（事故原因） 交差点部の道路段差の確認と注意が不十分だった。
					（再発防止策） 自転車は、大怪我に繋がる恐れがあるため、道路段差の確認や注意を十分に行う。また、怪我をした場合は早急に手当てをする。
3/16 16:15	男	78	就業中 （転倒） 通院中	世界 遺産 ガイド	世界遺産のガイド中、後ろ向きに歩きながら来場者に説明していたところ、階段を踏み外し、転倒した。
					（事故原因） 後ろ向きに歩きながら、説明をしていた。
					（再発防止策） 説明は立ち止まって行い、案内は前を向いて歩くことを徹底する。

（２）適正就業の推進

発注者との契約については、請負か指揮・命令が発生する派遣事業かの点検・確認を行うとともに、シルバー人材センターの働き方である臨時的かつ短期的又は軽易な就業であるためのローテーション就業及び長期就業の是正に取り組みました。

また、就業不適格会員に対する措置要領に基づき、問題行動の会員への就業停止措置及び注意勧告を行いました。

（３）センター安全就業促進大会

平成３０年度安全就業促進大会を、３月１３日（水）に大牟田文化会館で実施しま

した。当センターでの事故発生状況と原因分析報告、安全標語の表彰、大牟田市立病院による「生活習慣病予防のための体に良いこと悪いこと」、大牟田市防災対策室による「あなたを自然が襲ってくる！～災害に備えて～」の講演を行いました。

除草班、剪定班、清美班の出席率は良好で７２％～８７％でしたが、６１１名の会員中、出席会員１９９人、出席率３２．６％で更なる参加が望まれます。

３　相談事業

（１）就業相談の実施

就業を希望する地域の高齢者に、毎月２回の入会説明会及び毎月１回の会員登録説明会を行うとともに随時の就業相談に対応しました。

４　研修・講習事業

① 安心・安全講習

安心し安全に生活するために、高齢者の被害が多いニセ電話詐欺の防止について、職群定例会での啓発やセンターでのチラシ掲示等を行うとともに、地震や豪雨災害が多発していることから、安全就業促進大会で大牟田市防災対策室による「災害に備えて」の講演を実施しました。

② 健康管理講習

夏場の熱中症対策について、職群定例会での注意・啓発や熱中症対策のチラシ掲示を行うとともに、健康を維持するために、安全就業促進大会で大牟田市立病院による「生活習慣病予防」の講演を実施しました。

③ 接遇講習

利用者の信頼と満足を得るために、会員へのクレームに対する注意及び接遇の指導を行いました。

④ 剪定講習

新入会員を対象に、服装、道具、安全対策等についての座学研修を実施しました。（開催４回、研修会員４人）

⑤ 除草講習

〇新入会員を対象に、服装、道具、安全対策等について、座学及び実技講習を実施しました。（開催６回、研修会員６人）

〇刈払機を使用する会員を対象にした県連合会主催の刈払機の正しい扱い方、安全対策等についての技能講習会を１３人が受講しました。

⑥ 子育て・福祉・家事援助講習会

県連合会主催の会員研修会が、２月１４日（木）に福岡市で開催され会員２人と職員１人が参加しました。

⑦ 職員研修会

〇筑後ブロック会計担当職員研修会が、２月８日（木）に八女広域シルバー人材センターで開催され、県連合会の講師による研修会に職員２人が参加し、他センターとの意見交換を行いました。

〇筑後ブロック業務担当職員研修会が、２月２３日（金）に朝倉市シルバー人材

センターで開催され、県連合会の講師による研修会に職員２人が参加し、他センターとの意見交換を行いました。

⑧ 役員研修会

筑後ブロックの理事・事務局長を対象に、８月２４日（金）に久留米市シルバー人材センターにおいて、「理事の役割と活動」、「安全・適正就業」、「公益社団法人運営の留意点」等について役員研修会を実施しました。

⑨ 緊急交通安全講習会

１１月下旬に会員の就業途上の交通死亡事故が発生したため、緊急に１２月１７日（月）～２１日（金）に全会員を対象に交通安全講習会を実施しました。会員の約８割４７３人が参加し、二度とこのような事故が無いように交通安全への意識を高めました。

５　調査研究事業

公益社団法人として会員増対策と経営の安定化を進めるために、福岡県シルバー人材センター連合会からの情報収集及び筑後ブロックでの情報交換並びに先進地の視察を行いました。先進地視察については、会員拡大と就業拡大で大きな成果を上げている鹿児島市シルバー人材センターを１０月３０日～３１日の日程で視察し、取り組むべき課題を見出し、その後のセンターの事業運営に取り入れました。